

市長に栄誉を報告 青少年顕彰や発表大会入賞

富士宮高校会議所は、昨年11月に県青少年育成会議から本年度の「青少年団体等の顕彰」を受け、12月に第11回全国ユース環境活動発表大会関東地方大会で「未来創造特別賞」に輝いたことから、このほど市役所で須藤秀忠市長を表敬訪問して栄誉を報告した。

青少年団体等の顕彰は、県内各地で地道な地域貢献活動を続けている青少年団体・個人や指導者などの功績をたたえる事業。SDGsの理念に基づき地域

の活性化や健康福祉、環境保全への取り組み、地域の団体や企業、行政と連携したコンテストの開催や堆肥の開発など、日頃の活動が認められた。

全国ユース環境活動発表大会は、環境省と独立行政法人環境再生保全機構、国連大学サステイナビリティ高等研究所による実行委員会が主催。社会課題の解決に取り組む高校生の環境活動事例を募集し、発表と交流の場を設けている。

関東大会では予選を



市長と一緒に栄誉を喜ぶ(提供写真)

通過した13チームが参加する中、オリジナルのリサイクル堆肥「マスマス元肥(げんぴ)」を活用し、地元の農家や企業と連携して新商品を開発するなどの取り組みを発表した。

市長表敬には高野唯花さん(富士宮東高2年)と望月優希さん(同)が臨み、マスマス元肥に関する活動発表を交えて成果を報告。「全国

ユース環境活動発表大会では他地域の高校生との交流が刺激になった。「青少年団体等の顕彰では、県内各地で地域貢献に励む皆さんと肩を並べて大変誇らしく思った」などと成果や喜びを伝えた。

須藤市長は「先輩たちの活動を引き継ぎ、地域貢献的ボランティア活動を継続的にやっている姿に感銘を受けている」とたたえた。メンバーらは「今後とも高校生の視点で富士宮を元気にする活動をしていきたい」と意欲を示した。